



2022年 6月 17日
第216号

JR 東労組 Yokohama

JR 東労組横浜地本

発行人 助川 一実

編集 情宣 担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



申35号 「『変革2027』の実現に向けた組織の再編について」に関する説明申し入れ 提出！

横浜地本は4月25日に横浜支社から表題の施策の提案を受けました。職場の組合員から施策に対する問題意識を集約し、5月25日に申35号として説明申し入れを提出しました。

提案時の地本－支社間の議論において「システムをまたいで様々取り組み、社員が企画業務を担うことにより社員の成長と会社の成長をめざす」ことが目的であると述べられています。

組合員からは、施策により生じる変化やスケジュールに対する課題が多く出され、「施策の大枠が示されたが、具体的に何がどのように変化していくか想像できない」や、「これまで支社が担ってきた役割が現業機関で最適な状態で発揮できるのか」など、本施策をより掘り下げて議論することを求める声が上がっています。横浜地本は施策実施にあたり、組合員の不安が払拭され、さらには組合員・社員の「安全・健康・ゆとり」と働きがい・豊かさが実感できる施策とするため、説明交渉を行っていきます。

申し入れ項目の概略 27項目の申し入れにより、会社の考えを明らかにします

共通

全9項目で、会社が「めざすもの」の考え方と到達点を説明します。

- ・教育、訓練の拡充の考え方は？
- ・労働時間管理の考え方は？
- ・「線別ライン管理」の導入の考え方は？
- ・現業機関同士の企画業務の調整の考え方は？

営業・運輸

全4項目で、スケジュールと体制の考え方を説明していきます。

- ・地区体制の移管と自治体窓口の考え方は？
- ・乗務員区の兼務発令の考え方は？
- ・企画業務に必要な経費の考え方は？
- ・移管される企画業務に対する要員の考え方は？

企画部門

全4項目で、新たな体制の考え方を説明します。

- ・設備投資や修繕の意思決定の考え方は？
- ・旅客設備課の移管の考え方は？
- ・発足するユニットの体制と出面数の考え方は？
- ・支社で対応すべき車両関係業務の考え方は？

設備職場

全3項目で、新たな体制の考え方と業務負担について説明します。

- ・保線設備技術センターへの兼務者の業務負担についての考え方は？
- ・企画業務に対する要員の考え方は？
- ・信号メセにおける通信障害初動業務の考え方は？

車両職場

全7項目で、新たな体制の考え方と職場の変化について説明します。

- ・首都圏本部に集約する目的と効果は？
- ・勤務地や居住地に係る福利厚生は？
- ・スケジュールの根拠と集約による弊害は？
- ・車両配置の考え方と所属標記の考え方は？

「JR発足後最大の変革」には労使議論による認識一致が不可欠！

「安全・健康・ゆとり・働きがい・豊かさ」のある施策をつくり出そう！